

## くらしとお金の知恵～支出の見直し・複利の力～

年 組 番	名前
-------	----

## 1.「支出&lt;収入」にしましょう

経済的自立には、「 < 」とすることが必要

「を得る」「を増やす」ことができるよう、を高める

## 2. 支出の見直しをしましょう

表の下の(1)～(5)を読んで、次の表に記入しよう。

(1) 4つの支出	(2) 具体例	(3) 手手続き	(4) 見直しのタイミング	(5) 順位一例
( )がかかる支出	( )の分割払い・リボ払い			
( )な支出	スマホ料金			
	家賃			
( )な支出	お金のかかる趣味			
	レジャー			
( )になった支出	サブスクリプションサービス			
	コーヒー店通い			

(1) とくに見直す「4つの支出」を記入しよう。

(2) 「具体例」の空欄に記入しよう。

(3) 手手続きについて、次のア～オから選んで、記入しよう。

- ア 手手続きはいらない。自分の決断のみで、以後の支出がゼロになる。
- イ 手手続きが必要。手続きすれば、以後の支出がゼロになる。
- ウ 手手続きが必要。手続きすれば、それまでの支出はゼロになるが、代わりの支出が生ずる(支出減は図れる)
- エ 繼続的な支出をする契約なので、すぐに以後の支出を減ずることが困難である。(長期的な見直しは可能)
- オ その他

(4) 見直しのタイミングについて、次のア～オから選んで、記入しよう。

- ア 今すぐに開始できる。
- イ 手手続き完了まで、数日～1ヶ月程度かかる。
- ウ (たとえばスマホの別のプランのように)代わりのものを検討する時間が、さらにイに加わる。
- エ (たとえばクレジットのリボ払いの支払い完了のように)1年以上先になることがある。
- オ その他

(5)取り組みやすい順に、順位をつけてみよう。(最も取り組みやすいものを1位とする)

3. 大きな金額を支出する場合、「支出時期を定め、それまでに少しづつ貯蓄する」方法と「先に支出して、少しづつ返済する」方法があります。それぞれの長所と短所をまとめてみましょう。

	長 所	短 所
少しづつ貯蓄→支出		
支出→少しづつ返済		

4. 「複利の力」を知りましょう。

「利子にもまた利子が付く」ことを「」という。

ほど、また  ほど、 が大きく働く  
お金を「運用する」ときだけでなく、「」時も複利によって金額が増えることに注意！！

5. 今日の学習をふりかえりながら、将来、経済的に自立したときのことについて、考えてみましょう。

(1) つぎのAさん、Bさんは、ともに「手取り収入20万円」も、「手元に17万円残る」のも、同じです。

Aさん：手取り収入20万円から、毎月3万円を「天引き貯蓄」しているので、手元に17万円残る。

Bさん：手取り収入20万円から、毎月3万円を「クレジットカードのリボ払い」しているので、手元に17万円残る。

あなたは、Aさん、Bさん、どちらの暮らし方をしたいですか？

さん

(2) 毎月のお金の使い方について「こうしたい」と、今の時点で思うことをまとめてみましょう。